

2013年度第1回らいてう講座が開かれました。

6月8日(土) 折井美耶子さんによる『平塚らいてうと消費組合運動』~平塚おばさん がんばる~



のお話に聞き入りました。「らいてうの家」の今年の特別展示パネルは、らいてうが熱心にかかわった消費組合運動です。「らいてうは亡くなる1か月前の病床で長女の曙生さんに『相互扶助論をもう1度読み返したいものね』と話されたそうです。相互扶助による協同自治社会を目指したらいてうの思いを私たちは今どう受け継ぐか考えては...」らいてうが消費組合運動を始めたのは関東大震災に遭遇、また昭和恐慌のなかでクロボトキンの「相互扶助論」に出会い共鳴したのです。「闘争によらず・・・相互扶助の精神により協同の基礎の上に建て直す」の思想

に立って成城で消費組合「我等の家」を設立して組合長になりました。組合の取り扱い品目は米、味噌など食料品や日用品などで現在の生協と同じように牛乳の産直もしていたのです。手伝いに来る子どもたちに「平塚おばさん」と呼ばれるほど親しまれる大きな存在だったらいてうさんを想像してみてください。

折井さんは協同組合の原点、イギリスのロッチデール記念館にも行かれ、その時の写真を見せて下さいました。明治5年に日本からの訪問者が二人あった資料にはビックリ。女性自身の手による「我等の家」も1938年の国家総動員法の戦時統制経済強化により悔しくも解散となりました。この時の教訓を生かし生協は現在も「平和」という理念を掲げているのだと理解できます。菅平の地でロッチデール山荘を営む私にとって、生協運動を通してより身近に「平塚おばさん」を感じることができました。

木村 見江

第2回らいてう講座 とき 7月14日(日)午後1時半より

ところ らいてうの家 講師 米田佐代子&杉山洋子

テーマ らいてうとベアテと憲法と ~ふたりが憲法に託したねがいとは~

22歳で日本国憲法草案の「人権条項」を書いたベアテさんと、それを讀んだ60歳のらいてうさん。それから67年、今二人は天国で「九条と二十四条」への熱い思いを語りあっているかも・・・。

第3回らいてう講座 おなじみ宮島満里子さんの「ジェンダーの視点から読む源氏物語」

9月14日(日)午後1時半から らいてうの家で

第4回らいてう講座 「NHK テレビ『平塚らいてうと市川房枝』をめぐって」

10月13日(日)午後1時半から らいてうの家で 米田館長が語る・・・

7月6・7日は森のめぐみ講座

「らいてうの森」で笹刈り・溪流遊びを楽しみましょう。6日のみ参加もできます。

6日(土) 10時～11時50分 らいてうの森で笹刈り

11時50分～13時 とれたてイワナや山菜で「山のめぐみ昼食」

午後は溪流遊びをどうぞ。夜はあずまやホテルで温泉も楽しめます。

7日(日) らいてうの家でゆっくり過ぎしましょう。午後1時半ホテルバスで上田駅へ。

オープニング行事



小山洋代さんの柔らかな歌声に皆うっとり！
島田みのりさんのピアノもすてきでした。最後は全員で早春賦を歌いました。

そのあと、美しいお点前でお茶をいただき、日本文化を味わいました。



『青鞥』原本展示、好評でした。



「まっさきにらいてうの家で」と開催した『青鞥』原本展示。県内各紙も大きく取り上げ、大成功。

かぎ付き展示ケースを貸して下さった真田図書館のご配慮有難うございました。軽トラックで運んで下さった会員さんにも感謝！

スロープにご注意を！！

らいてうの家入り口の木製スロープは、8年目を迎え、さすがにくたびれてきたので今年中に付け替えることに。5月の連休中、大阪からご夫婦で当番に来てくださった山田さんが応急処置をしてくださいました。フクロウのいる所は危険個所です。お気をつけて歩行してください。

